



ステップ7 献金

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分かれています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗨️ 前は教会について学びました。そのとき学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

私たちは自分の財産の使い方次第で、神と人への愛を示すことができます。これは、クリスチャンとしての歩みにおいてとても大切なことです。



Step 7 Offering

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word

Share:

🗨️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you've tried to obey what you learned from God's word last time as we talked about the church.

An important part of the Christian life is expressing our love for God and others by the way we use our financial resources.

🗨️ 考えましょう：人は、どのような動機から献金や寄付金などを施すのでしょうか？（お寺、教会、チャリティーなど場所に関わらず。）

人が献金をするとき、そこには様々な動機があるでしょう。人から良く見られたいから、皆がやっているから、もしくは何らかの見返り（運気が上がる、臨時収入を得る、幸せが舞い降りる、など）を期待しているからかもしれません。良いことのためにお金を施すのは、確かに気分も良いものです。そのような良い気分になることは、時として私たちの行動を促す要因かもしれません。では、キリスト教ではどうでしょうか。クリスチャンは、献金について根本的に違った見解を持っています。それがどのようなものか、そして私たちがなぜ、神のミッションのために教会を通じて献金を捧げるのか、学んでみましょう。

なぜ献金するのでしょうか？

1. 神が私たちが愛してくださったから—イエスが私たちのために犠牲を払ってくださったから。

コリント人への手紙第二8章7～9節

📖 あなたがたは、すべてのことに、すなわち、信仰にも、ことばにも、知識にも、あらゆる熱心にも、私たちから出てあなたがたの間にある愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富むようになってください。こうは言っても、私は命令するものではありません。ただ、他の人々の熱心さをもって、あなたがた自身の愛の真実を確かめたいのです。あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。

私たちが捧げるべき最も根本的な理由は、神が私たちにひとり子であるイエス・キリストを捧げてくださったからです。私たちは神の惜しみない恵みによって救われ、変えられ、突き動かされています。ですから、私たちは強制されてではなく、愛をもって喜んで捧げるのです。神に受け入れられるため、もしくは愛されるために捧げるものではありません。私たちは既に神に受け入れられ、愛されているからこそ、捧げます。神の愛に応え、私たちは神と人への愛を示すために捧げるのです。

🗨️ Consider: What are some motivations that people have when they give financial offerings? (Wherever that may be: a temple, the church, a charity, etc.)

There are a lot of reasons people can be motivated to give. Perhaps they want to look good for other people, they see everyone else doing it so they do it also, or they are expecting something good in return (good luck, more money, or happiness). Truthfully, giving to a good cause feels good. Maybe the good feeling we get by giving is what compels us sometimes. Let's look and see why Christianity has a fundamentally different approach to giving, and explain why we give to God's mission through the church.

Why do we give?

1. Because God loved us—through Jesus' sacrifice for us.


2 Corinthians 8:7-9

📖 But as you excel in everything—in faith, in speech, in knowledge, in all earnestness, and in our love for you—see that you excel in this act of grace also [“this act of grace” is giving—see context in 2 Corinthians 8]. I say this not as a command, but to prove by the earnestness of others that your love also is genuine. For you know the grace of our Lord Jesus Christ, that though he was rich, yet for your sake he became poor, so that you by his poverty might become rich.


The most foundational reason we give is because God gave his only Son Jesus Christ to us. We are a people who have been saved, changed, and motivated by God's generosity, and we give freely out of love, not out of compulsion. We give not in order to be accepted or loved by God, but because we already are accepted and loved by God. Responding to God's love for us, we give to show love to God and others.

2. 私たちが神を愛しているから—神は私たちの宝です。

マタイによる福音書6章19～21、24、33節


 自分の宝を地上にたくわえるのはやめなさい。そこでは虫とさびで、きず物になり、また盗人が穴をあけて盗みます。自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです... だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません... だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

私たちに与えられている選択肢は、金銭を宝とするか、もしくは神を宝とし、究極的に求めるものが神であることを金銭によって示すか、そのどちらかです。私たちが持っているものはすべて、神が与えてくださったものです。私たちにはその財産を管理する機会が与えられていますから、私たちが神を愛していること、神のミッションのために力を尽くしたいこと、そしてただ神のみが永遠に続く喜びと満足を与えてくださるお方であると確信していること、これらを示すことのできる形で、財産を管理するべきです。金銭は日々の生活を維持するために大切なものです。しかし、私たちは神をまず第一に求め、私たちの必要より先に神に捧げることで、神が備えてくださると信じる信仰を示すのです。


 考えましょう：もし誰かがあなたのお金の使い道をすべて知っていたとしたら、その人は、あなたのお金の使い方を見て、あなたにとって何が最も大切だと思うのでしょうか？あなたの経済管理は、あなたが神を愛し、神のミッションに力を尽くすことを表していると思いますか？

2. Because we love God—he is our treasure.

Matthew 6:19-21, 24, 33


 *“Do not lay up for yourselves treasures on earth, where moth and rust destroy and where thieves break in and steal, but lay up for yourselves treasures in heaven, where neither moth nor rust destroys and where thieves do not break in and steal. For where your treasure is, there your heart will be also. ... No one can serve two masters, for either he will hate the one and love the other, or he will be devoted to the one and despise the other. You cannot serve God and money. ... But seek first the kingdom of God and his righteousness, and all these things will be added to you.”*

Either you treasure money, or you treasure God and use money to show that God is your ultimate desire. Everything we have has been given to us by God. We have the opportunity to steward these resources in a way that shows our love for God, our commitment to his mission, and our confident belief that God alone gives lasting joy and satisfaction. Money is important for sustaining daily life; however, we show our faith in God's provision by first seeking him and giving back to him before meeting our needs.

 *Consider: If someone were to see all the ways that you spend your money, what might someone observe is important to you? Does the way you steward your finances demonstrate love for God and commitment to his mission?*

3. 私たちは人々を愛しているから—そして教会を通じて神のミッションを支えることで、人々が霊的に豊かになることを願っています。

コリント人への手紙第二9章12～14節


 なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです。このわざを証拠として、彼らは、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であり、彼らに、またすべての人々に惜しみなく与えていることを知って、神をあがめることでしょう。また彼らは、あなたがたのために祈るとき、あなたがたに与えられた絶大な神の恵みのゆえに、あなたがたを慕うようになるのです。

私たちが教会に献金するのは、人々を助け、その人たちが霊的に豊かになるためです。それはつまり、誰もが最も必要としていること—救いに導くためなのです。教会に捧げられた献金は、福音を広め神のミッションを達成するための資金として用いられます。また、献金は神のミッションと神の国が拡大されるよう、貧困、孤児、未亡人、人身売買、不正など、あらゆる社会的に不正に光を当てる働きにも用いられます。もし、教会の資金運用について質問があれば、気軽に教会のスタッフにお尋ねください。

どのように献金するべきでしょうか？


1. 個人的に捧げる

マタイによる福音書6章1～4節

 人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうしないと、天におられるあなたがたの父から、報いが受けられません。だから、施しをするときには、人にほめられたくて会堂や通りで施しをする偽善者たちのように、自分の前でラッパを吹いてはいけません。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。あなたは、施しをするとき、右の手のしていることを左の手に知られないようにしなさい。あなたの施しが隠れているためです。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。

3. Because we love people—and seek to make others spiritually rich by supporting God’s Mission through the church.

2 Corinthians 9:12-14


 *For the ministry of this service is not only supplying the needs of the saints but is also overflowing in many thanksgivings to God. By their approval of this service, they will glorify God because of your submission that comes from your confession of the gospel of Christ, and the generosity of your contribution for them and for all others, while they long for you and pray for you, because of the surpassing grace of God upon you.*


We give money to the church to help others and make them spiritually rich, which is to meet everyone’s most essential need: salvation. Funds given to the church are used to accomplish God’s Mission by spreading the gospel. Funds are also used to further God’s Mission and kingdom by addressing issues of social justice—poverty, orphans, widows, human trafficking, injustice, etc. Note: If you have questions about the finances of your church, please feel free to ask a staff member at the church.

How do we give?

1. Privately

Matthew 6:1-4


 *Beware of practicing your righteousness before other people in order to be seen by them, for then you will have no reward from your Father who is in heaven. Thus, when you give to the needy, sound no trumpet before you, as the hypocrites do in the synagogues and in the streets, that they may be praised by others. Truly, I say to you, they have received their reward. But when you give to the needy, do not let your left hand know what your right hand is doing, so that your giving may be in secret. And your Father who sees in secret will reward you.*

 考えましょう：なぜ、献金は私たちと神との間での個人的なものであるべきなのでしょう？


この質問に対する答えは人によって様々かもしれませんが、しかし、究極的に言うならば、献金は神をほめたたえ敬うための行為ですから、神との個人的な行いであるべきです。私たちが捧げるとき、神はその供え物を認め、礼拝のしるしとして受け取ってくださることを、私たちは確信しています（ピリピ人への手紙4章18節）。

2. 力に応じて（そしてそれ以上に！）捧げる

コリント人への手紙第二8章1～5節

 さて、兄弟たち。私たちは、マケドニアの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせようと思います。苦しみゆえの激しい試練の中にあっても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となったのです。私はあかします。彼らは自ら進んで、力に応じ、いや力以上にささげ、聖徒たちをささえる交わりの恵みにあずかりたいと熱心に私たちに願ったのです。そして、私たちの期待以上に、神のみこころに従って、まず自分自身を主にささげ、また、私たちにもゆだねてくれました。


神は私たちそれぞれに様々な収入、財産、また機会を与えてくださっています。神は私たち全員が同じ金額を捧げるのではなく、それぞれが与えられている経済的な恵みに応じて捧げることを願っておられます。収入が多ければ、多く捧げることができると同時に、信仰をもってそれを管理する責任もあります。私たちの人生の各ステージにおいても献金の捧げ方が変わってくるでしょう—独身の人は経済的な義務が比較的少ないため、神の国のために、収入の中からより大きな割合を献金にあてることができるかもしれません。多くのクリスチャンは、収入の1割を神に捧げるべきものとして実践しています。それだけでなく、私たちの力以上に献身的な思いをもって捧げることも、大きな恵みです。経済的に恵まれている日本のような国に住んでいる私たちは、収入の1割以上を捧げることも可能かもしれません。

 Consider: Why should giving be a private matter between us and God?


While we might have different ways of answering this question, ultimately it's a private matter between us and God because it is a way that we glorify and honor God. We give knowing that God sees our sacrifice and receives it as worship (Philippians 4:18).

2. According to your means (and beyond!)

2 Corinthians 8:1-5

 We want you to know, brothers, about the grace of God that has been given among the churches of Macedonia, for in a severe test of affliction, their abundance of joy and their extreme poverty have overflowed in a wealth of generosity on their part. For they gave according to their means, as I can testify, and beyond their means, of their own accord, begging us earnestly for the favor of taking part in the relief of the saints—and this, not as we expected, but they gave themselves first to the Lord and then by the will of God to us.


God has given each of us a different level of income, resources, and opportunities. God does not expect everyone to give the same amount but desires that we give according to the level of financial provision he has given us. The more income you receive, the more you are able to give, and the more you are expected to steward faithfully. Our situation in life also affects our giving—a single person with fewer financial obligations is able to leverage a greater percentage of his or her income for the kingdom of God. Many Christians strive to give 10% of their income back to God. Furthermore, it is a great grace to give beyond our means in a sacrificial way. Some of us in rich countries, like Japan, are probably able to give even more than 10% of our income.

 考えましょう：私たちが自分の力以上に献身的に捧げることは、なぜ霊的成長のために大切なのでしょう？

私たちが献身的に捧げるとき、神への信仰と信頼が強められます。なぜなら、はかないこの世の富に対する執着が消え去り、神を求める思いや、神の内にある喜び、そして人への愛と思いやりが強められるからです。私たちが献身的な思いで捧げるなら、神は私たちの人生を安易で、病気もない、裕福な暮らしで祝福しようとはされません。むしろ、王なる神の富と天の宝を忠実に守った良き管理者として、さらに素晴らしい豊かな喜びを私たちに与えてくださいます。

3. 喜び、進んで捧げる


コリント人への手紙第二9章7節

 ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいます。


神は金銭が欲しいのではなく、私たちの心の状態を見ておられます。ですから、強いられて捧げることは無意味です。しかし、喜んで神に献金する人の心を神は大いに喜ばれます。

4. 教会として一致し、定期的に捧げる

コリント人への手紙 第一16章2節

 私がそちらに行ってから献金を集めるようなことがないように、あなたがたはおのおの、いつも週の初めの日に、収入に応じて、手もとにそれをたくわえておきなさい。


クリスチャンは一定の収入を得るごとに、定期的に献金を捧げます。地域教会の活動と働きを支えるために、クリスチャンが捧げるのは大切なことです（コリント人への手紙第一9章14節）。そして、おのおのが捧げた献金は一つに集められ、神の国を拡大させる素晴らしい働きのために、地域教会のリーダーシップのもとで用いられるのです（使徒の働き4章35節）。

 Consider: Why do you think it is important for our spiritual growth to stretch ourselves and give sacrificially?

As we sacrificially give, our faith and trust in God will increase, our desire for fleeting worldly wealth will decrease, and our desire for God, joy in God, and love and consideration of others will increase. God does not bless us with an easier, healthier, or wealthier life if we sacrifice financially. Rather we are given the greater and richer joys of being a faithful steward of the King's resources and of treasure in heaven.

3. Cheerfully and willingly


2 Corinthians 9:7

 Each one must give as he has decided in his heart, not reluctantly or under compulsion, for God loves a cheerful giver.

God is not after our money, he cares about the condition of our hearts. Giving to God out of compulsion is meaningless, but a heart that delights to give money to God is very pleasing to him.


4. Regularly as a united Church

1 Corinthians 16:2


 On the first day of every week, each of you is to put something aside and store it up, as he may prosper, so that there will be no collecting when I come.

Christians give regularly when they receive a portion of income. It is important that Christians give to their local church to support the ministry and ministers (1 Corinthians 9:14) and so all the Christians' offerings can be compiled together and used for great kingdom-advancing projects under the direction of the local church leadership (Acts 4:35).

一步踏み出しましょう！

 少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。そして互いにそのことを分かち合いましょう。次回の学びでまた、グループで分かち合います。

神の使命**コロサイ人への手紙4章2～6節**

 目をさまして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。同時に、私たちのためにも、神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。この奥義のために、私は牢に入れられています。また、私がこの奥義を、当然語るべき語り方で、はっきり語れるように、祈ってください。外部の人に対して賢明にふるまい、機会を十分に生かして用いなさい。あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。


コロサイ人への手紙4章には、身近な人にキリストのことを伝えるための実践的な教えがあります。

誰かに福音を伝える機会が与えられるために、神が門を開いてくださるよう祈り求めましょう。


その機会が与えられたとき、私たちは福音を明確に伝えるために神の助けが必要です。私たちがはっきり語れるように、神の助けを求めましょう。

「外部の人に対して賢明にふるまい」：リストについて話すために口を開く前から、私たちの行動はすでにイエスを証し、主が私たちの人生に何をしてくださったかを映し出しています。ですから、私たちは誰に対しても愛と恵みをもって接しましょう。知らない人であろうと、キリストのことを伝える機会が与えられるかもしれないからです。

Take the Step!

 Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. Share with one another about these things. Your group will ask you how this is going next time.

God's Mission**Colossians 4:2-6**

 *Continue steadfastly in prayer, being watchful in it with thanksgiving. At the same time, pray also for us, that God may open to us a door for the word, to declare the mystery of Christ, on account of which I am in prison— that I may make it clear, which is how I ought to speak. Walk in wisdom toward outsiders, making the best use of the time. Let your speech always be gracious, seasoned with salt, so that you may know how you ought to answer each person.*

Colossians 4 gives us some practical ideas for effectively sharing Christ with those around us.

We can ask God to give you an open door of opportunity to share the gospel with someone.

When the opportunity comes we need God's help to be able to clearly communicate the gospel. We can ask God to help us make the gospel message clear.

"Walk in wisdom toward outsiders." Before we ever open our mouths to share the story of Christ, our actions are already a witness to others about Jesus and what he has done in our lives. We should treat everyone we meet with love and grace because we may have opportunities to share Christ with even a stranger.

私たちは神が与えられた機会を十分に生かして用いるべきです。神が与えてくださる経済的財産を管理する責任があるように、私たちは神の栄光のために、信仰をもって、時間、機会、そして人間関係を管理する責任があります。明日、誰かに福音を伝える機会がまた与えられるという保証はありません。ですから、今日神が与えてくださる機会を逃さないよう、常に目を開けていきましょう。

すべての会話が、イエス・キリストの福音で塩味のきいたものであるようにしましょう。会話がどんな内容であってもすべて神に帰するはずですから、意識し自然にキリストのことを話しましょう。「こんな気持ちの良い天気も神が造られたんだね。」「昨日、教会に行ったんだ。」「最近聖書をよく読んだ。なぜなら...。」「このように少しでもそのことに触れると、福音の全体を伝える機会の門が数多く開かれます。

私たちは、キリスト教に関する知識を問われても、すべての質問の答えを知っている必要はありません。しかし、イエス・キリストに個人的に抱いている希望と信頼についての答えは用意しておきましょう。イエスがあなたにしてくださったことについて、いつでも分かち合うことができるように備えましょう。

互いに励まし合いましょう：

- 🗨️ あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？
- 🗨️ あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

互いのために祈りましょう：

- 🗨️ あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合いましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合いましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。

We can make the best use of the time God has given us. Just as God gives us financial resources to steward, we are also expected to faithfully steward our time, opportunities, and relationships for the glory of God. There is no guarantee that we will have another opportunity to share Christ with someone tomorrow. We can keep our eyes open for an opportunity today, not passing up any opportunity God gives us.

Let every conversation be sprinkled with the salt of the good news of Jesus Christ. Everything relates back to God, so no matter what you are talking about, we can intentionally and naturally speak of Christ. "What a beautiful day God has made." "Yesterday I went to church." "These days my favorite book to read is the Bible because..." Through making small comments like these, many doors of opportunity to fully share the gospel will be opened.

We don't necessarily need to know how to answer each person's intellectual inquires about Christianity, but we must be prepared to give an answer for our personal hope and trust in Jesus Christ. Always be prepared to share what Jesus has done for you.

Encourage One Another:


- 🗨️ *What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?*
- 🗨️ *How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?*

Pray for One Another:

- 🗨️ *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

互いのために日々祈るようにしましょう。(1) 大胆さと知恵が与えられるように。(2) 良い機会が与えられるように。(3) 相手の心が開かれるように。


他の祈りの課題：

 何か祈って欲しいことはありますか？

神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.